

平成 30 年 4 月月例記者会見

会見記録

1. 記者会見

【 説明 】

〔ふるさと納税の使い道に受動喫煙防止を追加〕

市長 ふるさと納税の使い道に受動喫煙防止を追加します。

先日もお伝えしましたとおり、6月1日から条例に基づき、歩きたばこ等の禁止区域を明確に設定し、取締りをスタートいたします。また、職員も率先して対応するため、喫煙できる時間を休み時間・始業前・終業後に限り、さらに、市民からの声にも対応する形で、喫煙後、エレベーターの45分禁止もさせていただきます。非常に反響をいただきましたので、受動喫煙防止の取組をより生駒市できちんと進めていくために、このようなコースを追加いたします。

具体的には、一つは、市内の事業所で禁煙を推進していただくために、商工会議所や市内の事業所と連携して事業を展開していきます。二つめは、喫煙をやめられない市民の禁煙を支援するために、プログラムを具体的に考えて、本気で禁煙する市民を応援していくものでございます。

先月も少し申し上げましたが、生駒駅周辺を歩きたばこの禁煙区域としておりますが、今後地元の皆さんから実際に歩きたばこが多いという声があれば、他の駅や人が集まる場所にも拡大していくことも考えています。しかし、たばこを吸いたい人が市内全域で全く吸えないというわけにはいかないもので、受動喫煙を防止できるような形で最低限の喫煙可能なスペースを設置していくことは必要になってくると思います。このようなことを使い道として考えています。

〔在宅医療・介護連携 新たな3つの取組〕

市長 「在宅連携・介護連携、新たな3つの取組」です。

生駒市では、医療関係者や介護福祉関係者ととも「医療介護連携ネットワーク協議会」と設置しています。昨年度にいろいろ議論した結果を、インターネット上で活用できるようにし、またその結果を受けて相談窓口の設置等を行いました。

具体的には、大きな一つめとして、情報検索サイト「生駒市医療・介護・介護予防情報ナビ」を5月7日から公開します。これは、去年3月に発行した「在宅医療介護資源集」、例えば、介護サービスや福祉介護関係の施設、医療関係をリスト化して、この施設ではこのようなサービスが受けられるといったものが一目で分かるようにしたものです。今まで紙の形で整理していましたが、なかなか更新できないということもあったので、インターネットで最新の情報を更新しやすく、また検索できるようにしたものです。

一つは市民向けで、もう一つは医療介護関係者向けとなっています。市民向けは「けあプロ navi」といい、医療関係機関や介護事業者の基本的な情報に加え、介護予防や認知症予防の取組みの情報が調べ

られます。介護予防、認知症予防の取組の一覧を見ることができるのは、生駒市らしい独自の取組みと
思っています。もう一つは「ケア倶楽部」といって、医療介護のプロの皆さんがお互いに情報を確認で
きるようなものです。

大きな二つめは、相談窓口の設置です。医療介護連携や在宅医療に取り組んでいくにあたって、例え
ば医療機関と介護サービスの連携接続の話や在宅医療に伴う相談などが、市民側にも介護や医療の専門
家の皆さんにも生じてくるので、これらに一元的に相談できる窓口を作りました。これは4月4日から
開設しています。場所はセラビーいこまメディカルセンターで、毎週水曜日と金曜日に開設します。

大きな三つめは、「入退院調整マニュアル」です。これは在宅医療を行う前に、医療機関でどのような
処理をしたとか、患者について注意すべきこととか、いろんな情報がありますが、それらが在宅医療に
入る時に介護施設や福祉施設にきちんと円滑に提供ができることが、在宅医療における一つの大きな課
題となっています。そこで、医療機関から介護関係者または介護をする家族にしっかりつないでいくマ
ニュアルを作り、入退院のときにしっかりしていくもので、4月から具体的に運用を始めています。より
具体的なことにつきましては、地域医療課と地域包括ケア推進課にお問い合わせください。

【1日限定「先生」になりたい人集まれ！「IKOMAサマーセミナー」先生、運営スタッフを募集!!】

市長 IKOMA サマーセミナーです。去年はたくさんの方に参加いただき、57コマの授業を実施し、
1200の方が来てくださいました。私も授業をさせていただき、たいへん盛り上がりました。今年度も
7月29日に、コミュニティセンター、たけまるホール、ららポート、イコマドの4会場で、去年の57
コマから約80コマに増やして開催したいと思っています。講座数が大きく増えていることが去年とひと
つ違う点です。もう一つは、去年は市主導で行いましたが、去年参加した方に声をかけ企画側をお願い
して実行委員会形式で行います。コアメンバーは決まっていますが、実際に運営したい方や先生として
教えて下さる方を募集いたします。去年以上の盛り上がりができますようよろしくお願いします。

【職員採用試験に958人の応募がありました!! 生駒市職員採用試験】

市長 採用試験の申し込みを4月11日に締め切りましたので、その結果を報告します。

今年の申込者は、それぞれの職種を合わせまして958人です。去年と大きく違うのは、受験できる年
齢の上限を30歳から27歳まで引き下げたことです。昨年度の申込者のうち27歳までの人数は927人
で、今年は空前の売り手市場と言われている中、生駒市は30人ぐらい申込者が去年より多かったとい
うことで、いろんなキャンペーンの成果が出たと思っています。28歳以上を対象とした職務経験者に対す
る募集は、7月頃に募集要項を公表して秋試験として行います。そちらの方も広報しますのでよろしくお
願いします。927人が958人と非常に高いレベルで推移していますが、さらに去年より増加しており、
ほっとしているところです。生駒市より申込期間の早い自治体がないので、比較は難しいのですが、売
り手市場の中で他の自治体も苦勞はすると思います。生駒市では民間企業との競合も出てくると思いま
すので、生駒市に来ていただけるように、今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

【パラリンピック金メダリストと講演会&いっしょに泳ごう】

市長 最後が「パラリンピックの金メダリストと一緒に泳ごう」です。冬季のパラリンピックは終わ
りましたが、パラリンピックへの注目が非常に高まっている中、4月22日の午前中に、パラリンピック

の金メダリストの成田真由美さんに「きらめき」まで来ていただいて、講演会と一緒に泳ぐという企画をしました。私も行かせていただきます。成田さんは4大会連続でパラリンピックに出場され、20個のメダルを獲得されており、そのうち金メダルが15個で、13個の世界記録を樹立しているという伝説に近い人です。パラリンピックがここまで盛り上がる前からフロンティアとして切り開いて来られた方です。定員50名のうち4月16日現在17名で、まだまだ募集をしています。また、当日の取材もよろしくをお願いします。

私からは以上でございます。

【 質疑応答 】

〔ふるさと納税の使い道に受動喫煙防止を追加〕

記者 市長が受動喫煙を入れた一番の狙いと、それによってどういったことを期待されているかを教えてくださいませんか。

市長 受動喫煙防止は、もともと条例で定め、しっかりと取り組んでいこうと思っておりますが、全国的にも反響いただき、概ね好意的に捉えていただいております。エレベーターにつきましても、反論も含めていろいろご議論していただいております。また、国でもオリンピック、パラリンピックもあることから、議論されていますので、今回大きく取り上げていただいたものを継続的に我々も考えていこうということです。具体的に生駒市でできることは何かあるのかは、なかなか難しいですが、まず一つは条例をしっかりと施行していくということです。もう一つは、市内の事業所に生駒市としてどれだけ踏み込めるかということはあると思いますが、受動喫煙を各事業所で取り組んでいくことについて、市も関係者といっしょになって踏み込んで議論し、協力もしていきたいと思っております。それに財源的なものがあるなら、そういうことも検討したいと思っております。

もう一つは、まだ喫煙されている人でたばこをやめたいと思っておられる方を本気で応援していくことです。啓発だけではなく、セミナーのプログラムを考えていきたいと思っております。

最後は、先程申しましたが、たばこを吸う人を完全に排除するわけでもありませんし、禁煙する人が増えていけばいいなということと、喫煙する人もまわりに煙たがられないようなことを、どうしていくかということです。一つは、市内の喫煙可能なスペースというのを最低限は確保していかなければいけない、その時に受動喫煙が極力避けられるような構造の喫煙スペースをしっかりと整備をしていくということです。

受動喫煙防止で生駒市ではいろいろ先進的な取り組みをまちぐるみでやっていますということ、しっかりといくつかの事例も含めて2020年に向けて生駒市から発信し、定義していきたいと思っております。生駒市がやっているからうちもやろうかなという自治体が増えていけばいいなと思っております。

記者 他のメニューを見ると、たとえばエアコン設置や消防車を買うならわかりやすいんですけど、受動喫煙で何にどう使うのかというのがわかりにくいんですが。納税をしてくれる方にも何をどうしてくれるのかということがあるのかなと思ったんですが。

市長 啓発だけならお金もそういりません。施設の整備というところまで踏み込めるかというところはありますが、禁煙を支援するようなプログラムや、これも多大なお金がかかるものではないんですけども、啓発だけではなく踏み込んでできるものを考えたいと思っております。国でも大きな議論になっているのが、比較的小さな飲食店をどういうふう禁煙にしていくとか、分煙では受動喫煙を防げないとか、

いろんな議論が出ていますので、そういったところで、なかなか事業所を全面禁煙するのに必要なお金を市が補助するとかまでは出来ないかもしれませんが、こういった使い方があるということを含めて市内の事業所や、全国から生駒市でこういったモデル的なことができないかという意見やアイデアをいただければ、トライアル的に生駒市でできることがあると思っています。

記者 これは、この間の一連の報道があったのを受けて、反響が大きくやっていこうということではないんですか。

市長 流れとしてはその通りです。

記者 使い道を予定している事業のなかで、市内の事業所っていうのがあると思うんですけど、これは市の施設というよりも、民間を含めてのということですか。

市長 市の公的施設もちろんですが、公的機関以外の市内の事業所にも受動喫煙防止をしていくということを、市としてどこまで強制できるのかということがありますが、呼びかけて踏み込んだ取り組みをしていきたい。例えば、商工会議所や事業者間で検討したことに市が費用を負担するということもあり得ます。今までも事業所関係も声はかけて啓発はしていたんですが、具体的には決まっていますが、もう一步踏み込んだ取組を考えていきたいと思います。

記者 受動喫煙防止をいつから追加されますか。

市担当者 明日に市のホームページで、ふるさと納税へ追加します。

記者 市長は反響が大きかったとおっしゃいましたが、その数を示すメールの数とかファックスの数とかありますか。

市担当者 メール数は約 20 通くらいは来ている。

記者 何に対するメールですか。

市担当者 エレベーターの 45 分の分です。

記者 批判的なものもあつたんですか。吸いたい人とかの。

市担当者 だいたい半分半分です。

記者 どのメールに来るんですか。

広報広聴課長 ホームページにお問い合わせメールというのがありまして。

記者 禁止区域の表示とかはまだですか。路面の表示だとか。

広報広聴課長 6月1日からですのでそれまでに、それに向けて準備中ですのでまだ設置はしていません。

記者 そもそも昨年全体で何円くらい集まりましたか。

市担当者 昨年度は 6550 万円で、コース別で言いますと、一番多いのは市長におまかせで約 2,800 万円、二番目が学校トイレの改修 1270 万円、三番目は生駒山をナラ枯れから守れコースが 1110 万円、四番目シルバーいきいきコースが 430 万円、五番目が音楽のまち生駒サポートコース 380 万円です。

広報広聴課長 先程ご質問がありました禁止区域の表示ですが、予定では 5 月最終週の 3 日間に貼ります。看板設置も直前です。

記者 5 月 31 日が禁煙デーだから、6 月 1 日から指定したの。

市長 それは当然あります。

記者 ふるさと納税の取り組みは先進的と書かれていますが、全国的に見ても珍しいのですか。他の自治体がやっていたのを取り入れられたのか。

市長 他の自治体がやっているのを参考にしてやったのではありません。

記者 使い道にこれを入れるというのは、参考にしていない、ふるさと納税に使い道に受動喫煙を入れるっていうのは他市を参考にしていないということですね。

市長 それはしていません。やっているところが他にあるかもしれませんが。

広報広聴課長 後で調べたんですが、北海道美唄市がこういう取り組みをされています。調べたところではそこぐらいです。

市担当者 北海道美唄市は、そこも受動喫煙防止条例があって、推進とか防止対策ということでやっています。タイトルとしては、受動喫煙防止対策ということになっています。この条例施行は28年7月1日からとなっております。

市担当者 先程の喫煙後45分間エレベーター使用禁止のメールでの問い合わせの数ですが、全体で24ございました。賛成9、反対14、不明が1となっております。

【職員採用試験に958人の応募がありました!! 生駒市職員採用試験】

記者 職員採用なんですけど、30歳から27歳に引き下げたのは理由があったんですか。

市長 民間経験者も来てもらうということで30歳まで引き上げたんですが、30歳では新卒扱いが難しいのではという議論があって、28歳以上は中途採用に近い形で採用する方が、処遇面でもやりやすいということで、27歳で線を引き直したということです。

記者 これは別に国から云々ということではなくて市の判断ですか。

市長 はい。

記者 28歳未満としなかった場合の昨年度の合計人数は。

市担当者 927に対する数字は1036になります。

記者 1000人を毎年超えているという並びで言うと、1000人は超えてないということ。

市担当者 昨年の事務職大卒、土木、建築でいうと1000人は超えております。

記者 その並びで言うと、例年1000人超えているのはこの3つの並びでいっているんですけど。

市担当者 春試験で例年1000人は超えています。

記者 今年は1000人を切っている。3職種だけでしばらく1000人を超えていた。

市担当者 春試験だけです。土木、建築、機械を含めてです。

記者 その1000人以上っていうのは何年も前から聞いていて。その1000人以上というのは、この3職種ということですか。

市長 それでまちがいないです。昨年までは春の3職種だけでも1000人は超えていました。他に高卒事務とかを入れると優に1000人は超えています。27歳まで比べたら去年より増えているんですけど。

記者 市長がおっしゃったように工夫もあるが、売り手市場という社会的要因もあるのでは。

市長 売り手市場の影響がどこまであるのか分析はできていません。

市担当者 ちなみに全体数で言いますと、28年・29年は1700人前後です。

副市長 結局、経験者採用としてもらった方がわかりやすい。結局30歳で経験のある人でも待遇は新卒扱いとなってしまうので、28歳以上の人は経験者採用として考えますということです。

〔スマホでスタンプラリー「子育て御朱印帳」スポット数が約2倍、スタンプ1個でも特典〕

市長 子育てご朱印帳の実績が良くて、377人参加されています。それで今年もやろうということになりました。よろしくお願いします。

〔パラリンピック金メダリストと講演会&いっしょに泳ごう〕

記者 話変わりますが、成田さんのやつは募集条件に市内在住とかないですね。

市担当者 ないです。

〔次回記者会見 時間の変更〕

広報広聴課長 次回の記者会見は、5月28日11時からと案内しておりましたが、変更させていただきます。会見のあとに空き家対策のプラットホームの調印式を予定しています。

(了)